

令和6年3月4日

報道関係者 各位

(県政記者クラブ、横浜市記者クラブ同時発出)

能登半島地震の支援について考える

青少年赤十字の児童・生徒が 支援会議を行います

日本赤十字社神奈川県支部(以下、支部)は、能登半島地震で被災された方々を救護するため、石川県珠洲市に医療救護班を派遣しています。

今回、青少年赤十字*登録校の児童・生徒が、災害救護にあたった支部職員から、避難所の巡回診療や現地の様子などを聞き、“自分たちができる支援”について考え、行動につなげます。

- 【日時】 令和6年3月16日(土) 10:00~12:00
- 【場所】 日本赤十字社神奈川県支部 6階会議室 (ZOOMによるハイブリット開催)
- 【参加者】 県内青少年赤十字登録校の児童・生徒(小・中・高等学校)
- 【内容】
 - ①能登半島地震における赤十字の救護活動報告
 - ②各学校や地域での支援実施状況の共有
 - ③ニーズ把握のための話し合い
 - ④支援可能なニーズの選択と具体的な実施計画の策定と発表



▲活動の様子

*青少年赤十字とは…

赤十字の精神に基づき、学校教育の中で「気づき、考え、実行する」ことのできる“やさしさ”と“思いやり”のあふれる健全な青少年の育成を目的に活動しています。

【参考】 県内の登録校(幼稚園~高等学校まで)
9園 116校 35,414人

【問い合わせ先・取材申込み先】

日本赤十字社神奈川県支部 総務企画課

TEL:045-681-2124

Email:kanagawa-kikaku@kanagawa.jrc.or.jp

3月15日(金)15時までにお問い合わせください。